

## すくすく伸びよ！ 卒園生

3月11日は、私が理事を勤めている学校法人が経営している幼稚園の卒園式でした。

理事という立場でもあり、ご案内いただきましたので出席することにしましたものです。

家内から「泣くんでないよ」といわれて家を出たのですが、年と共に涙腺が緩くなって、子どもたちが元気に園長先生から保育証書を受け取り、「さようならみんなの ようちえん」を歌っている様子を見ると、つい目元がウルウルしてしまいました。

1時間ほどの式でしたが、子どもたちはとても素晴らしい態度であったと思います。

子どもたちの成長には、目を見張るものがあります。

幼い子どもたちが成長していく姿を見ることは、この上ない喜びであると共に、教育の力が如何に大きなものか実感した時間でもありました。

この子どもたちが、社会に巣立つのは20年ほども先になるのでしょうか。その時、日本はどのような姿になっているのでしょうか。

少子高齢化の進展、どん底の経済、内憂外患を抱える政治情勢等々、私達を取り巻く環境は非常に不透明で、展望が開けない状況にあります。こうした状況は、大きな大河の流れのように、途切れることなく連綿と受け継がれてきた歴史の上に立ち現れているものであり、過去の歴史とは無縁ではありません。

とすれば、彼らが将来生きて行くであろう日本の姿や形に対して、今を生きる私達には重大な責任があるといわねばなりません。

卒園式に臨み、幼い子どもたちの喜びに充ちた顔を見ながら、これからもすくすくと成長して欲しいと願うと同時に、心豊かに暮らすことの出来る日本、国際社会から信頼され、尊重される日本、そうした明るい日本を次の世代に引き継いでいけるよう、そろそろ高齢者の仲間入りをする私ですが、もう少し頑張らねばいけないと、改めて思ったところです。（塾頭 吉田 洋一）